

2024年度のダイジェスト

区部下水道主要施策

再構築(下水道管)

詳細:11ページ

老朽化対策とあわせて雨水排除能力の増強や耐震性の向上などを図る再構築を推進しています。

下水道管の再構築 【枝線の再構築】

整備年代の古い第一期再構築
エリアのうち再構築した面積

606ha

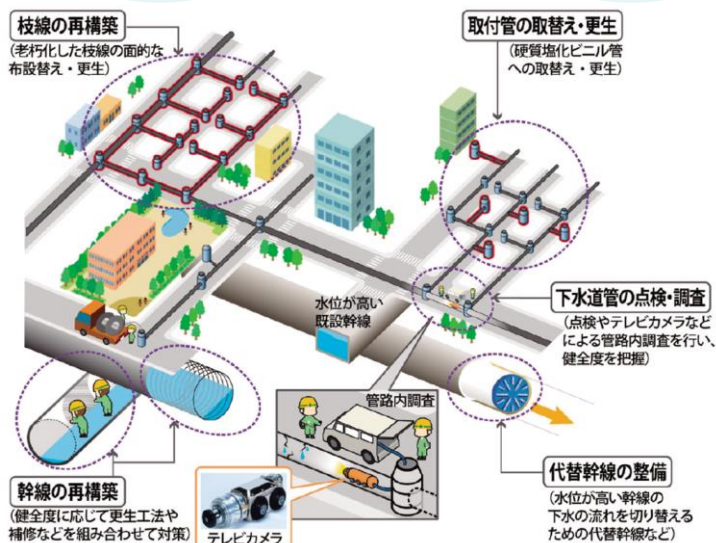
年間目標値
700ha

下水道管の再構築 【幹線の再構築】

再構築した幹線の延長

9km

年間目標値
7km



下水道管の再構築のイメージ

2024年度の主な取組をダイジェストで紹介します



再構築(水再生センター・ポンプ所)

詳細:13ページ

老朽化対策とあわせて、雨水排除能力の増強、耐震性や維持管理性の向上、省エネルギー化等を図る再構築を推進しています。

水再生センター・ ポンプ所の再構築

再構築した主要設備の台数

52台

年間目標値
50台



再構築後の発電設備(梅田ポンプ所)

浸水対策

詳細:15ページ

東京都豪雨対策基本方針に基づき、時間75ミリ降雨に対応する下水道施設整備を推進し、内水はん濫による被害を軽減します。

重点地区

**1地区
完了**

年間目標値
1地区



https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/gouu_houshin/index.html

都は、気候変動による影響を踏まえ、令和5年12月に東京都豪雨対策基本方針を改定しました。

2024年度のダイジェスト

区部下水道主要施策

震災対策

詳細:21ページ

震災時の下水道機能や交通機能を確保するため、下水道管の震災対策を推進しています。また、水再生センター・ポンプ所においても、施設の耐震化などの震災対策を推進しています。

下水道管の 震災対策

排水を受け入れる下水道管
の耐震化等をした施設数

243か所

年間目標値
256か所

下水道管の 震災対策

マンホールの浮上抑制対策
を実施した道路延長

83km

年間目標値
78km

下水道管の 震災対策

地区内残留地区での
震災対策を実施した面積

459ha

年間目標値
389ha

水再生センター 及びポンプ所の 震災対策

すべての系統で
耐震化を完了した施設数

3施設

年間目標値
2施設

東日本
大震災時
(2011年)



マンホール浮上被害事例

能登半島
地震時
(2024年)



2024年度の主な取組をダイジェストで紹介します



合流式下水道の改善

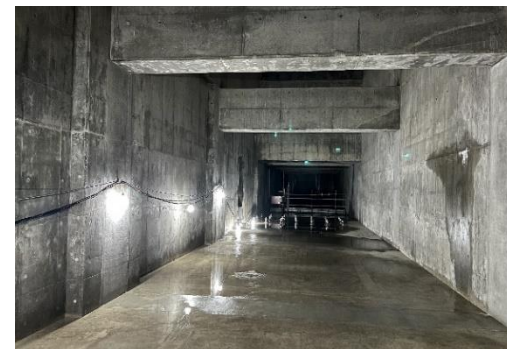
詳細:33ページ

降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の整備を進めるなど、水質改善を推進しています。

貯留施設等の 貯留量

事業継続中

5か年目標値
累計175万 m^3



工事中の王子第二ポンプ所内の貯留施設

エネルギー・地球温暖化対策

詳細:39ページ

下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2023」の取組方針に基づき、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量を積極的に削減し、環境負荷の少ない都市の実現に貢献しています。

省エネルギー型 機器を導入した台数

11台

年間目標値
9台

エネルギー自立型 焼却炉への更新

事業継続中

5か年目標値
累計3基



工事中のエネルギー自立型焼却炉
(南部スラッジプラント)

2024年度のダイジェスト

多摩地域の流域下水道主要施策

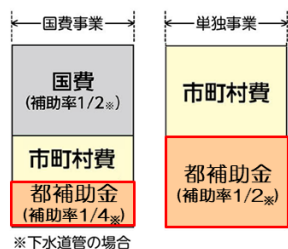
市町村との連携強化

詳細:30ページ

強靱化補助制度により市町村の公共下水道の浸水・震災対策を後押しするとともに、下水道事業の持続的な運営に向け維持管理業務に関するノウハウ提供などの技術支援に取り組んでいます。

23市町に強靱化に資する事業の

財政支援を実施



都と市町村の下水道情報交換会

を20回以上開催



下水道情報交換会の様子

処理水質の向上

詳細:37ページ

下水処理水の水質をより一層改善するため、設備の再構築に合わせ、高度処理や準高度処理施設の導入を推進しています。

高度処理と準高度
処理を合わせた能力

5万m³/日

年間目標値
7万m³/日



整備後の水処理施設(清瀬水再生センター・準高度処理)

2024年度の主な取組をダイジェストで紹介します



雨水対策

詳細:29ページ

市単独による雨水排除が困難な地域において、複数市にまたがる広域的な流域下水道雨水幹線を整備し、市と連携して浸水被害の軽減に取り組んでいます。

流域下水道
雨水幹線による
雨水対策

空堀川上流
雨水幹線事業
を推進中



地下約20mを工事中的空堀川上流雨水幹線

エネルギー・地球温暖化対策

詳細:39ページ

「アースプラン2023」の取組方針に基づき、エネルギー・地球温暖化対策を推進し、環境負荷の少ない都市の実現に貢献しています。

省エネルギー型
焼却炉の導入

焼却炉の更新工事
を推進中



工事中の省エネルギー型污泥焼却炉
(北多摩一号水再生センター)

2024年度のダイジェスト

東京の下水道への信頼を高める取組

2024年度の主な取組をダイジェストで紹介します



維持管理の充実

詳細: 27ページ

令和7年1月28日に発生した埼玉県八潮市の道路陥没を受けて、直ちに国道、都道を巡視するとともに、下水道管の緊急点検を行い、異状がないことを確認しました。

- 下水道管に異状がないことを確認
- 下水道管に起因する空洞は確認されず

下水道局では都民の皆さまの安全・安心の確保に向け、日々維持管理を着実に実施しています。

下水道管の緊急点検

国の要請に基づく緊急点検

約19km

下水道局による追加緊急点検

約24km

災害発生時の連携

詳細: 32ページ

下水道局では、いつ起こるともれない災害に備え、日頃から、関係機関と実践的な訓練を実施し、連携強化を図っています。

- 災害により下水道管が損傷した場合等に、避難所などから発生するし尿の搬入・受入を円滑に行うことができるように、区市町村とし尿の搬入・受入訓練を行いました。



区と連携した訓練の様子(江戸川区道)

し尿の搬入・受入訓練

区部18区

多摩30市町村

と連携して実施

国際展開

詳細: 45ページ

これまで培った技術力や経営ノウハウなどの強みを活かし、東京発の下水道技術の国際展開を進めています。

技術支援

海外都市における
技術支援
2都市で実施

- 2024年度は、バングラデシュ・ダッカ上下水道公社、JICA「草の根技術協力事業」によるモンゴル・ウランバートル市上下水道公社への技術支援などを行いました。



JICA「草の根技術協力事業」の本邦研修

広報

詳細: 41ページ

普段目にする機会が少ない下水道のしくみや下水道が果たしている役割、抱えている課題をお客さまに分かりやすく伝え、認知度・理解度の更なる向上、イメージアップに取り組んでいます。

でまえ授業

小学4年生を対象に
505校で
883回実施

- 2024年度は、これまでの取組を継続するとともに、InstagramにWEB広告を掲出するなど新たな情報発信も行いました。



InstagramにWEB広告を掲出
(「油・断・快適! 下水道」キャンペーン)